令和７年度　南陽東中学校　総合的な学習の時間　全体計画

学校教育目標	学習指導要領目標
『心身ともに健康で、 　将来に向かって学び続ける生徒の育成』 ＜重点項目＞ ・「関わり愛　学び愛　認め愛」の学校努力点のもと、多様な人と学び合う場面を設定・工夫する。 ・総合的な学習の時間で探求型の学びをたっぷり経験できるようにする。 ・子どもが自己選択・自己決定する場面を設定する。 ・キャリアタイム、キャリアナビゲーターを活用して、職場体験を充実させる。	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ⑴　探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 ⑵　実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ⑶　探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校において定める総合的な学習の時間の目標

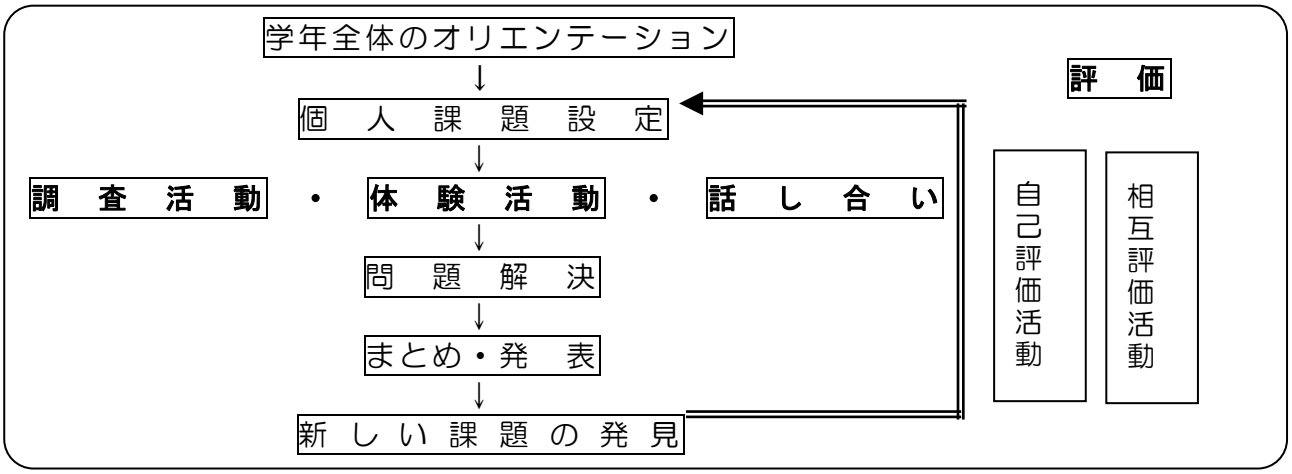
知識及び技能（㊟）	思考力、判断力、表現力等（㊟）	学びに向かう力、人間性等（㊟）
課題に必要な知識や技能を身に付けたり、探究的な学習を進める方法について理解したりする。	課題に対する解決方法を考えたり、必要な情報を集めたりすることができるようにし、集めた情報を整理・分析し、分かりやすく表現する力を身に付ける。	探究的な学習の過程において、課題に協働的に取り組んだり、粘り強く取り組んだりすることを通して、自分の生き方について考える姿勢を育てる。

総合的な学習の時間の内容

		１年	２年	３年
目標を実現するにふさわしい探究課題		高校訪問	稲武野外学習・職場体験学習	修学旅行・進路学習
探究活動の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		㊟　自己理解や進路の幅を広げることの大切さを理解することができる。 ㊟　インターネットや図書資料、施設訪問で集めた情報を整理・分析し、分かりやすくまとめ、表現することができる。 ㊟　高校訪問と事前学習における自分の探究課題について、主体的・協働的に取り組もうとしている。	㊟　仲間と協力するよさや職業について理解することができる。 ㊟　インターネットや図書資料、職場体験で集めた情報を、整理・分析し、分かりやすくまとめ、表現することができる。 ㊟　稲武野外学習・職場体験学習における自分の探究課題について、主体的・協働的に取り組もうとしている。	㊟　自己の特性や能力、取り巻く環境との関わりを理解することができる。 ㊟　進路や社会について集めた情報を整理・分析し、自己の生き方を表現することができる。 ㊟　修学旅行・進路学習における自分の探究課題について、主体的・協働的に取り組もうとしている。
学習活動	１学期	○　キャリア教育 ・　毎日の生活に、楽しさをみつけよう！ ○　進路学習	○　稲武野外学習 ・　稲武野外学習に向けて ○　進路学習① ・　職業調べ ○　合唱コンクールに向けて	○　進路学習① ・　上級学校説明会 ○　修学旅行① ・　修学旅行に向けて

	2学期	○　ＳＤＧｓについて ○　高校訪問① ・　事前学習 ・　まとめ、発表 ○　合唱コンクールに向けて	○　合唱コンクールに向けて ○　体育大会に向けて ○　進路コンパス ○　進路学習② ・　職場体験学習に向けて ・　マナー講座	○　修学旅行② ・　まとめ、発表 ○　体育大会に向けて ○　合唱コンクールに向けて ○　進路学習② ・　進路選択に向けて
	3学期	○　高校訪問② ・　校外学習 ・　発表会 ○　３年生を送る会に向けて	○　進路学習③ ・　職場体験学習 ・　上級学校調べ ○　３年生を送る会に向けて	○　進路学習③ ・　進路先へ向けて ○　３年生を送る会に向けて
指導方法	・関心・意欲を高めるための体験活動を重視する。　・課題意識を連続発展させる支援を行う。 ・対話を中心とした協働的な学習活動の充実を図る。　・教科との関連的な指導を重視する。			
指導体制	・担任以外の教職員による支援体制を整えたり、外部講師を積極的に活用したりする。 ・地域素材や地域の人々との連携体制を整え、積極的に活用する。			
学習の評価	・学習活動の過程や成果などの記録、発表や表現などのプレゼンテーションや作品による評価をする。 ・自己の振り返り、ワークシートなどによる自己評価や意見交換・評価カードによる相互評価をする。			

「総合的な学習の時間」基本の流れ



令和７年度　名古屋市立南陽東中学校キャリアタイム全体計画

ナゴヤ学びのコンパス

教職員の願い

〇基本的な学習・生活習慣を身につけ、将来に向かって成長してほしい
〇教職員のワークライフバランスを実現したい

家庭・地域の願い

〇安心して学校に通い続け、将来に向かって成長してほしい

目指す生徒像

・仲間と学び合い、互いに認め合う生徒
①学校が好きな生徒　②思いやりのある生徒
③主体的に学ぶ生徒　④自己決定できる生徒
⑤規律を守る生徒

学校教育目標

心身ともに健康で、
将来に向かって学び続ける生徒の育成

生徒の実態

〇元気がよく素直で、感情をストレートに言葉で伝えている生徒が多い。
〇多様性について理解があり、相手を認めようとする姿勢がある。
〇気分が乗らないときや、苦手なことに対して、取り組むことが難しい。

学校努力点

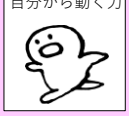
関わり愛　学び愛　認め愛～振り返りによる認め愛を通して～

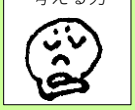
キャリア教育全体目標

将来のありたい姿を描き、自分らしく生き抜いていく力を養う

育成すべき基礎的・汎用的能力

①人間関係形成・社会形成能力	②自己理解・自己管理能力	③課題対応能力	④キャリアプランニング能力
対話する力	自分から動く力	諦めない力	考える力
認め合う力	決める力	チャレンジする力	見つける力





各学年の重点目標

第１学年「自分への理解を深める」	第２学年「社会への理解を深める」	第３学年「未来への進む道を選ぶ」
〇相手の考えや気持ちを理解できる① 〇自分の興味や関心、長所や短所などが理解できている② 〇自分のやるべきことについて理解できる② 〇学ぶことのや働くことの大切さについて理解できている④	〇周りの人に働きかけ、協力して行動できる① 〇苦手なことでも自分から進んで取り組むことができる② 〇何かに取り組む時、計画を立てて進めることができる③ 〇今学校で勉強していることと、将来の自分の関係を考えることができる④	〇自分の考えや気持ちを相手にわかりやすく伝えることができる① 〇わからないことや興味のあることについて、自分で情報を集められる③ 〇目標に向かってやるべきことを考え、生活や勉強の方法を工夫できる④ 〇将来のありたい姿を思い描くことができる④

教科等における指導内容

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
〇各教科における「主体的な学び」を通じて、学んでいることを自己のキャリア形成の方向性と関連付け、各教科で育む資質・能力を「基礎的・汎用的能力」の育成につなぐ。 〇身に付いた「基礎的・汎用的能力」を各教科の学びに活用。	〇勤労の尊さや意義の理解等を通して、自分の将来を考え、自己の生き方について自覚を深める。 〇道徳で学びを特別活動や総合などの実勢に生かす中で「基礎的・汎用的能力」を育んでいく。	〇自主的・実践的な様々な集団活動に各教科等での学びを生かしつつ、今後のキャリア形成に学校での学びをどう生かすかという見通しを持ち、合わせて振り返りを行う。 〇そうした集団活動や見通し・振り返りを通じて、各教科等で身に付いて資質・能力を基礎に「基礎的汎用的能力」を育んでいく。	〇自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、実社会・実生活の中から問いを見出し、探求する。 〇そうした探究活動を通じて、各教科等で身に付いた資質・能力を基礎に「基礎的・汎用的能力」を育んでいく。

キャリアタイムの主な学習活動

第１学年	第２学年	第３学年
〇キャリア教育への理解を深める。日々の積み重ねがキャリア繋がるというキャリア学習の目的を理解する。 →キャリア教育オリエンテーション 〇自分のやるべき役割を理解し、お互いの良さを理解し認める。 →体育大会、合唱コンクール、校外学習 〇自己と他者の違いを理解する。将来の夢を考えてみる。 →自己紹介すごろく、MIRAI　Map 〇キャリア・パスポート振り返り	〇自分の適性を知る。 →ジョハリの窓OR自己理解ワーク 〇様々な職業を知る。様々な働くことの価値観を知る。 →職業人講話、職場体験学習、職業レディネス・テストOR進路コンパスなど 〇自分のやるべき役割を理解し、計画を立てて自ら行動する。 →体育大会、合唱コンクール、稲武野外学習 〇キャリア・パスポート振り返り	〇自分を知る。 →自分のトリセツ、OHBYカードなど 〇社会を知る。修学旅行先での企業・学校訪問を行い、働くことや職業についての理解を深める。 →修学旅行、SDGsを学ぼう 〇選択した進路に向けて行動する。面接の心構えを知る。自分の考えを相手に伝える力を身に付ける。 →マナー講習、進路学習 〇キャリア・パスポート振り返り